|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大阪府内建築行政連絡協議会　様式**建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書**（第一面）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日株式会社　オーネックス　様　　　　　　　　　　　　　　　　　　建築主氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 代理者氏名　　　　　　　　　　　　　申請等に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画について、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行規則第３条に該当する軽微な変更がありましたので、変更の内容を報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| (1) 建築物の名称 |  |
| (2) 建築物の地名地番 |  |
| (3) 確認済証交付年月日・番号 |  |
| (4) 省エネ適合判定年月日・番号 |  |
| (5) 変更の内容 |
| □A　省エネ性能が向上する変更□B　一定範囲内の省エネ性能が減少する変更□C　再計算によって基準適合が明らかな変更（計画の抜本的な変更を除く） |
| （6）備　考 |
|  |
| 注意）１．この説明書は、完了検査申請の際に、申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画に軽微な変更があった場合に、完了検査申請書の第三面の別紙として添付してください。２．(3)欄において、計画変更の確認等を受けている場合は、直前の計画変更の確認、(4)欄において、判定の変更を受けている場合は、直前の判定について記載してください。３．(5）欄の各チェック項目毎に、下記の書類を添付してください。A：第二面（必要事項記入したもの）・変更内容を説明するための図書B：第三面（必要事項記入したもの）・変更内容を説明するための図書ルートBの変更範囲内であることを示す計算書（判定申請時にモデル建物法入力シート（国立研究開発法人建築研究所）を使用した場合は、同シート内の「入力確認シート」の出力等を含む）C：軽微変更該当証明書・左記の申請に要した図書 | 受付欄 |
|  |

（第二面）【Ａ　省エネ性能が向上する変更】

|  |
| --- |
| ・変更内容は、□チェックに該当する事項となる |
| □　① 建築物高さもしくは外周長の減少□　② 外壁、屋根もしくは外気に接する床の面積の減少□　③ 設備機器の効率向上・損失低下となる変更□　④ 設備機器の制御方法の効率向上・損失低下となる変更□　⑤ エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備の新設、増設□　その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ・上記□チェックについて具体的な変更の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

 |
| （第三面）　【Ｂ　一定範囲内の省エネ性能が減少する変更】

|  |
| --- |
| ・変更前のBEI＝（　　　　　）≦（　　　　　） |
| ・変更となる設備の概要 |
| * 空気調和設備
 |
| 変更内容記入欄 |
| * 機械換気設備

変更内容記入欄 |
| * 照明設備

変更内容記入欄 |
| * 給湯設備

変更内容記入欄 |
| * 太陽光発電設備

変更内容記入欄 |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更となる設備は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした設備については、変更内容記入欄に概要を、第三面別紙に必要事項を記入した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

 |
| （第三面　別紙）　【空気調和設備関係】

|  |
| --- |
| 次に掲げる（イ）又は（ロ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （イ）外壁の平均熱貫流率について5%を超えない増加　かつ窓の平均熱貫流率について5％を超えない増加 |
| 外壁の平均熱貫流率について5%を超えない増加の確認 |
| 変更内容　　　□断熱材種類　　□断熱材厚み　　□その他　　変更する方位　□全方位　□一部方位のみ（方位　　　　　　　　）変更前・変更後の平均熱貫流率　変更前（　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　　）％ |
| 窓の平均熱貫流率について5％を超えない増加 |
| 変更内容　　　□ガラス種類　　□ブラインドの有無　　変更する方位　□全方位　□一部方位のみ（方位　　　　　　　　）変更前・変更後の平均熱貫流率　　変更前（　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　　）％  |
| （ロ）熱源機器の平均効率について10％を超えない低下 |
| 平均熱源効率（冷房平均COP） |
| 　　変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の平均熱源効率変更前（　　　　）　変更後（　　　　　）　減少率（　　　　）％ |
| 平均熱源効率（暖房平均COP） |
| 　　変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の平均熱源効率変更前（　　　　）　変更後（　　　　　）　減少率（　　　　）％ |

 |
| （第三面　別紙）　【機械換気設備関係】

|  |
| --- |
| 評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（イ）又は（ロ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （イ）送風機の電動機出力について10%を超えない増加 |
| 　　室用途（　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の送風機の電動機出力変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 　　室用途（　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の送風機の電動機出力　変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 　　室用途（　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の送風機の電動機出力　変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |
| （ロ）計算対象床面積について5%を超えない増加（室用途が「駐車場」「厨房」である場合のみ） |
| 室用途（　駐車場　）変更前・変更後の床面積変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 室用途（　厨　房　）変更前・変更後の床面積変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |

 |

（第三面　別紙）

　【照明設備関係】

|  |
| --- |
| 評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（イ）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （イ）単位面積あたりの照明器具の消費電力について10%を超えない増加 |
| 　　室用途（　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 　　室用途（　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 　　室用途（　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 　　室用途（　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 　　室用途（　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　増加率（　　　）％ |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （第三面　別紙）　【給湯設備関係】

|  |
| --- |
| 評価の対象になる湯の使用用途毎につき、次に掲げる（イ）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （イ）給湯機器の平均効率について10%を超えない低下 |
| 　　湯の使用用途（　　　　　　　　　　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の平均効率変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　減少率（　　　）％ |
| 湯の使用用途（　　　　　　　　　　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の平均効率変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　減少率（　　　）％ |
| 　　湯の使用用途（　　　　　　　　　　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の平均効率変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　減少率（　　　）％ |
| 　　湯の使用用途（　　　　　　　　　　　　　　）変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減変更前・変更後の平均効率変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　）　減少率（　　　）％ |

 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （第三面　別紙）【太陽光発電関係】

|  |
| --- |
| 下表に掲げる（イ）又は（ロ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （イ）太陽電池アレイのシステム容量について2%を超えない減少 |
| 変更前・変更後の太陽電池アレイのシステム容量　　変更前　システム容量の合計値（　　　　　　）　　変更後　システム容量の合計値（　　　　　　）変更前・変更後のシステム容量減少率（　　　）％ |
| （ロ）パネル方位角について30度を超えない変更かつ傾斜角について10度を超えない変更 |
| パネル番号（　　　　　）パネル方位角　□30度を超えない変更　（　　　）度変更　　パネル傾斜角　□10度を超えない変更　（　　　）度変更 |
| パネル番号（　　　　　）パネル方位角　□30度を超えない変更　（　　　）度変更　　パネル傾斜角　□10度を超えない変更　（　　　）度変更 |
| パネル番号（　　　　　）パネル方位角　□30度を超えない変更　（　　　）度変更　　パネル傾斜角　□10度を超えない変更　（　　　）度変更 |

 |